

	<h1>地方版 脊損ちば</h1>	<h2>第126号</h2> <h3>2017年8月</h3>
	<p>発行 全国脊髄損傷者連合会 千葉県支部 〒285-0831 佐倉市染井野 5-42-7 電話 050-3634-7257</p>	

ホームページアドレス = <http://www.normanet.ne.jp/~ww101938/>

メールアドレス = sijchiba.hide.iiooka@gmail.com



第16回定期総会おきなわ大会 於: 牧志駅前ほしぞら公民館 平成29年6月10日

《脊損ちば No.126 目次》

<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度第2回定例役員会議事録・・・・・・・・・・P2～P3 ・平成29年度千葉県支部ピアサポート活動の報告・・・・・・・・P3～P5 ・第16回全脊連定期総会沖縄大会レポート・副支部長露崎耕平・P5～P6 ・第6回笑い飯(わらいめし)HAPPY ランチ会の報告・・・・・・・・P7～P9 <li style="text-align: center;">広報部 富田健一 ・家族の足跡達 23の巻 千葉市 露崎耕平・・・・・・・・P10～P11 ・福祉に関する情報・・・・・・・・・・・・・・・・P12～P14 ・LIKE・・・・・・・・・・・・・・・・女子会 松田よしえ P15 	<ul style="list-style-type: none"> ・「My Style」: vol. 22・・・・・・・・女子会 進藤加代子・・・・・・・・P16 ・関東甲信ブロック スキルアップ研修会」のご案内・・・・・・・・P17～P18 ・脊髄再生医療最新情報・・・・・・・・・・・・・・・・P18～P19 ・車イスぶらり旅紀行 ～九州 秘境を巡る旅～・・・・・・P20～P21 <li style="text-align: right;">車イスの旅人 ・BBQ 昼食会のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・P22 ・ピアサポート実施について・・・・・・・・・・・・・・・・P23
--	--

平成二十九年 度

千葉県支部第二回定例役員会議事録

平成二十九年六月十八日(日)
市原市三和保健福祉センターサロニールホール

出席者：(アイウエオ順) 敬称略 11名

飯岡秀之、尾崎ひかる、忍 司、上代有希、金谷喜三郎、佐藤翔太、露崎耕平、
富田健一、豊田尚洋、中澤恵子、松田よしえ

【一般経過報告】

1. 千葉リハ関係

(1) ピアサポート

4月26日 テーマ：福祉サービスについて 参加者：露崎、佐藤

5月24日 テーマ：家屋について 参加者：露崎、松田、尾崎、佐藤

(2) リハビリテーション講習会

5月29日 実行委員会

参加者：中澤

脊髄損傷講習会 日程：11月18日(日)開催

2. 脊損ちば第125号

6月18日 会員等に発送

3. その他

(1) 入会者 4月入会：甲斐 一徳氏(市原市)

会員数 6月17日現在 100名

【本部報告事項】

1. 第16回総会沖縄県大会について

日時：平成29年6月10日(日)



会場：牧志駅前ほしぞら公民館ホール 沖縄県那覇市安里2-1-1

さいおんスクエア内

(1) 参加者 6/10総会：露崎夫妻

(2) 主な議題

① H28年度事業報告&収支決算報告&監査報告

② H29年度事業計画&収支予算

③ 役員の変更

④ 来年度開催支部：石川県支部(6/9)

(3) その他

① バリアフリー情報を共有するスマホアプリ『Mealog(ウィーログ)』講演

② 障害平等研修(Disability Equality Training:DET)講演

【今後の支部活動予定及び審議事項】

1. 第6回食事に(日) HAPPYランチ会

7月9日(日) ホテル日航成田 本館2F/中国料理 「桃季」

〒286-0106 千葉県成田市取香500

TEL：0476-32-0032

役員集合：11時 受付：11時半 食会スタート：12時

会費：2,500円

申し込み締め切り 6月30日 飯岡まで

参加予定者：中澤、尾崎、上代、金谷、佐藤、露崎、富田、豊田、中澤、飯岡

飯岡

駐車場誘導係：露崎、上代、金谷

担当役割 受付：中澤、尾崎

進行：豊田

写真：佐藤

詳細については脊損ちば125号参照のこと

2. ピアサポートについて

6月：6月28日(水) テーマ未定 参加者：露崎、尾崎、佐藤、松田

7月：7月26日(水) テーマ未定 参加者：露崎、尾崎、佐藤、松田

3. 第25回バーベキュー昼食会

日程：10月15日(日)

場所：マザー牧場

担当：露崎、若林

詳細は脊損ちば126号に掲載する。

4. 会報126号を発行について (8/6 発送予定)

(1) 原稿作成担当

・全国総会沖縄県大会報告：露崎

・千葉リハピアサポート活動報告：千葉

・支部ピアサポートのお知らせ：千葉

・「My Style」：進藤

・「家族の足跡達」：露崎

・第24回バーベキュー昼食会案内(9月)：千葉

・「LIKE」：松田

(2) 原稿×切×7/22 編集終了印刷依頼 会報納品#8/3

編集終了後、メールかUSBにて直接印刷所に送る 担当：千葉

(3) 今後の会報担当者について

会報作成は複数人でできるようにする。会報126号の作成時は千葉市

だけでなく、佐藤氏も同じものができるように試して会報作成する。

↓前回の原稿を佐藤氏に送付する。

5. その他

(1) 平成32年度全国総会の担当支部について

・本部は千葉県支部にと言ってきたが、まずはブロックとしての考えを聞く。↓ブロック長に確認。

・そのうえで千葉県支部が受けた時の影響を調査する。(具体的には前支

部長の石井氏にヒアリング)

・上記を総合的に判断して支部としての回答を考える。

◎次回役員 平成29年8月6日(日) AM 10時

サンハート 2F ボランティアルーム

会議前に脊損ちば126号の発送準備を行う

平成二十九年 提携協会自賠責適用拠出事業

千葉県支部ピアサポート活動の報告

会場 千葉県千葉リハビリテーションセンター

◆実施日 5月24日(水) 16:20~17:20 / 3C デイルーム

◆テーマ 家屋について

◆参加者

《入院》K様、T様、H様、I様、S様、O様、T様、Y様

《連合会》露崎様、松田様、尾崎様、佐藤様

《スタッフ》山崎、吉田/加藤(SW)、斯波/遠藤(心理)、高浜/佐藤、横田、

小林、工藤(OT)

今回は「家屋」のテーマで話し合いました。動画や写真等のスライドを見ながらスタッフ山崎さんのお話を聞いたり、連合会のピアサポーターの方々の体験や留意点をうかがったりして、和やかなひとときとなりました。

まずは玄関についてです。段差を解消するためにスロープを設置する方法がありますが、その場合、無理なく自走できる傾斜にすることが大切だということです。上りやすいのは3〜5度と言われていますが、自分にはどのくらいの角度が合っているのか、院内のスロープを実際の上がってみて確認すると良いとのことでした。また、段差昇降機を設置する方法もあります。値段が高い、停電や故障時に困るといったデメリットもありますが、最近の昇降機は停電時も1〜2回は作動する、降りる際は電気が不要のものもあるとのことでした。

次に室内についてです。車椅子でストレスなく自由に動ける環境作りが大事になります。靴箱を手が届きやすい高さにしたり、自室の出入り口を引き戸にしたり、畳をフローリングに直したり等の工夫が紹介されました。

外を走った車椅子のまま室内に入るのが気になる場合は、2台用意して、外

用と室内用で使い分ける方法もあるそうです。(ただし助成がきくのは1台分のみ)

トイレに関する工夫もいろいろありました。賃貸住宅のため釘が打てない場合には、発泡スチロール製のブロックを積み上げてうまく調節して、移乗の時に手を置く場所を作っていらつしやる方もいるそうです。スペースを確保するために、トイレタンクがないタイプに替えたり、出入り口を広げることで、出入りしやすくすることもできます。便座の上にソフト便座を置いて、高さや柔らかさを調節する方法もあります。連合会の方からは、浴室内にトイレを設置し、跳ね上げ式の手すりやアコーディオンカーテンをつけたというお話や、元の便器を90度回転移動させ、一部の壁を取り払う工事をして広くしたという体験談もお聞きました。また、入院中に、院内で自分がいちばん使いやすいトイレ(高さや手すりの位置)を見つけておき、それを業者さんやご家族に伝えて改修の参考にすると良いとお話もうかがいました。

続いて、睡眠環境についてです。リビングの隣の部屋を自室として使い始めたものの物音や明るさが気になってしまったが、防音効果もある遮光カーテンを付けたところ、安眠できるようになったというお話が出ていました。ベッドやマットレス選びはたいへん重要ですが、それに加えて、就寝する空間の調整も大切とのことでした。

浴室についてです。湯船に入ると、褥瘡予防、疲労回復、新陳代謝が良くなる等の効果があると言われています。洗い場の床にホームセンターで売っている台を置き、そこから湯船に移る方法や、湯船を床下に沈めて段差を小さくする方法などが紹介されました。連合会の方からは、ユニットバスを解体して作り変えることもできたり、シャワーホースの長さ(既成のものでは最大3メートル)を特注することもできる等といった情報を提供していただきました。なお、自宅のお風呂での入浴が難しい場合は、訪問入浴のサービスもあります。

以上のような家屋改修・購入には費用の助成があります。これらには「事前申請」が必要です。助成の範囲や額については、利用するサービスの種類(障害福祉サービス、介護保険)や、住んでいる市町村によっても違いがあるそうなので、担当のソーシャルワーカーや市町村の窓口を確認しましょう。

今回は、自宅で快適に生活するための改修や環境設定のポイントについて考

える良いきっかけになったのではないかと思います。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

◆実施日 5月24日(水) 16:20~17:20 / 3C デイルーム

◆テーマ 自動車について

◆参加者

《入院》S様、H様、T様、I様、N様、Y様、S様

《連合会》露崎様、尾崎様、佐藤様

《スタッフ》山崎、吉田/森戸(SW)、斯波/遠藤(心理)、岡本(看護)、

江本/横田(OT)、

今回は「自動車」をテーマに、前半は、病棟食堂で、自動車に乗る際に気を付けること、乗り方や手続きなどについて話し合いました。後半は、駐車場で移動して、実際に連合会の方々の車を見せていただきながらお話をうかがいました。

前半は、まず、皆さんでスライドを見ながら、車に乗るにあたって準備すべきことについて、4つのポイントに分けて話し合いました。連合会からは、露崎さん、尾崎さん、佐藤さんが参加され、経験や新しい情報についてお話ししてくださいました。

1つ目、「入院中にできること」としては、「トイレの管理」「車への移乗の練習」「情報を見る・聞く」が挙げられていました。

2つ目のポイント『乗る前の手続き』では、ご自身で運転される場合の「運転適性検査」「手動運転装置」についての話題が挙がりました。運転適性検査は免許センターで受ける必要があります、移乗や操作が問題なくできるかを確認し、免許の書き換えを行なってもらうものです。これを受けてから、手動装置の設置になります。手続きとしては、設置する前に役所に申請することが原則です。手動装置は車種にもよりますが25万円ほどかかり、一部助成金が出ます。最近のコンピュータ制御の車は配線等が複雑なため、改造しづらいというお話も出ていました。

3つ目は『車の購入・使用にあたっての手続き』です。障害者手帳に登録さ

れた車に対し、各種助成が適用となります。手動装置設置に関する助成の他、自動車税・自動車取得税・福祉車両購入の消費税・手動装置の消費税の免税があります。これらについて、ディーラーさんが手続きを代行してくれることもあるので購入の際に相談しましょう。手帳のサービスとしては各種助成の他に、有料道路の料金割引（ETC登録割引）や、公営駐車代免除等があります。連合会の方からは、美術館に行った際、事前に連絡をしておいたところ、すぐ裏の駐車場に無料駐車できた等の体験談をうかがうことができました。また、警察で手続きをすると「駐車禁止除外証」を発行してもらうことができ、提示することで申請者本人がその日に乗っている車（家族や友人所有の車でもよい）を駐車禁止の場所でも駐車できるようになります（ただし交差点内や消火栓付近等、法定で禁止されている場所は対象外）。有効期限は3年間であり、継続するには更新手続きが必要です。その場合、期限が切れた日付から半年以内に手続きすれば、即日交付されるそうです。

4つ目として、連合会の皆さんが車に乗るにあたって気をつけていらつしやることをうかがいました。初めて行く場所は、駐車場がどうなっているか下調べすると良いそうです。また、出掛ける日の天候をチェックする、車のガソリンを満タンにしておくといったお話も出ました。外出が長くなりトイレが心配な場合は、レッグバッグを使用する方法もあるそうです。ガソリンスタンドについては、セルフの所でも従業員に声を掛ければ手伝ってもらえますが、従業員が一人しかない時間帯は避けたほうがよいとお話も出ていました。

後半は、連合会の方の車が停まっている駐車場に移動し、設置されている手動運転装置や、実際に移乗する様子等を見せていただきました。車イスをどうやって自分で車内に載せるのかといった質問に対し、着ている洋服が汚れないようにタオルを敷いてその上を通す方法をやって見せてくださる場面もありました。目の前で実演していただいたことで、実感を伴って理解することができたと思います。

最後にまた病棟食堂に戻ってからも、様々な質問が出たり、それにお答えいただいたりと、充実した情報交換ができました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

報告者

千葉原千葉リハビリテーションセンター
地域連携部 相談室 ソーシャルワーカー

会沢希美

第十六回全国脊損携荷者連合会 定期総会沖縄大会レポート

副支部長 露崎耕平

6月9日〜11日まで定期総会に行つてまいりました。今回の定期総会の開催地は沖縄！

この時期の沖縄は梅雨ど真ん中ですが、いつも沖縄旅行に行く時は冬に行っていたので、その時期の沖縄は関東の初夏のような感じで爽やかな気温だったのですが、天候には恵まれたものの、沖縄の梅雨を初体験、甘く観ていました。関東の梅雨よりはるかに湿度も気温も高く、とても蒸し暑かったです。

いつも国内線の飛行機を利用する際は羽田空港を利用していました。空港まで鉄道を利用して行くと言う事もあり、千葉駅から乗換も無く行ける成田空港（初の試み）を利用する事にしました。

成田空港の国内線が利用しやすいのか興味も有り、特に下調べも無く行きま

した。今回はJRを利用し、成田空港駅につきホームからエレベーターで改札階に上がりドアが開くと、そこには鉄のポールで出入口を囲う様に立てられていて、ポールとポールの間隔が狭く車椅子が通る事が出来ないのです。（細い人なら行けるかも…）

よく空港内で見かける荷物を載せる大きなカートをもそのままホームに行かせない様にする為のバリケードでした。そこを通る為には毎回壁に取り付けられているインターホンで駅員さんをお呼び



那覇空港搭乗受付カウンター

でチェーンを外してもらわないと通る事が出来ません。

成田空港の国内線はスポット（搭乗口から飛行機までつながっている通路）がなく搭乗口から飛行機まではバスで移動、車椅子の場合には機内用の車椅子に乗換えて荷台が上下する専用のトラックに乗せられて飛行機まで移動し他の人乗込む出入口と反対側の出入口にトラックの荷台を上げて機内へ乗り込みます。何度か昔に体験した事は有ったのですが、まさか成田空港の国内線がこれだったとは…成田空港の国内線は海外からトランジエット（国際線から国内線への乗換え）にあるような感じ、なので乗客の8割ほどが行きも帰りも外国の方でした。便数も少ないし機体も小さなめの飛行機が多いのです。

結論！国内線はやっぱり羽田空港だなんて感じでした。

那覇空港に着き宿泊先まではモノレール、モノレールのホームには車椅子で乗込むドアの所に駅員さんがリモコン操作をするとホームが持ち上がりスロープになるのです。以前とないから横浜に行く時の地下鉄もこんな感じでした。

会場は国際通りに面していて那覇空港からホテル、会場までのアクセスはとても良くホテルと会場は国際通りに面していて歩道等も整備されており車椅子での走行もとてもスムーズでした。

外国からの観光客も多くさすが観光産業に力を入れているだけはあるんだと実感しました。

ただ建物は古いので飲食店は段差や階段で入る事が出来ない所も多かったです



モノレールスロープ車内から見た感じ



モノレールスロープホームから見た感じ

今回総会の前に講演が2つ障害保健福祉と障害者差別解消法の講演があり厚生労働省の人と内閣府の人がそれぞれ話しましたが「机の上の理論だな、現実というか末端ではどのような事が起きているかは知らないだろうな」という印象でした。

総会は前理事長の妻屋さんがお亡くなりになり、新理事長として大濱副理事長が今回の総会より理事長に就任しました。数々の議題があり、毎回総会は紛糾します。全国から支部の代表が集まり議論する訳ですが、様々な意見が出て活発なやり取りがあります。理事長も変わり今後、全国脊髄損傷者連合会がどの様に変わっていくのか？

どの様な心配を取って行くのかとても興味深い所です、世の中には沢山の色々な人達が居ますよね。車椅子ユーザーだけではなく、広い視点で見ると、感じて、考えて行かなければいけないと思います。どんな手段が有るか解りませんが、全国脊髄損傷者連合会の理想が現実になる様に努力して行かなければと毎回総会に出ると思われるのです。



総会風景



受付カウンターは、この看板が目印

第6回

笑飯(わらいめ) HAPPY ランチ会の報告

広報部 富田 健一

今回で6回目となる「笑飯(わらいめ)HAPPY ランチ会」が7月9日(日)、晴天のなか成田空港のすぐ隣にあるホテル日航成田で開催されました。会場は本館2階にある中国料理「桃李」オーダーバイキング形式で食へ放題でした。

また、ホテル側の「厚意で駐車場の確保、誘導もしていただき、とても有難かったです。これも女子会の交渉術が良かったのでしよう。また、手作りの駐車案内を用意していただいたり、おもてなしに感動しました。

飯岡支部長の挨拶から上代さんの乾杯で食へ放題がスタートです。

食へ放題のあとは集合写真撮影しました。

2次会は1階のフリースペースでコーヒーを飲みながら脊損あるある、車いすあるあるの話で盛り上がりました。

今回は内外合わせて28名の参加でした。全国脊髄損傷者連合会 副代表理事の安藤信哉様、奥様、日本せきすい基金事務局の池田幸英様にもお越しいただきました。千葉支部にお越しいただき有難うございます。

また、会場の手配から受付を担当していただいた中澤さん、司会進行の豊田さん大変お疲れさまでした。

今回参加できなかった会員の皆さん、秋にはなぐさー牧場のBarooを企画しています。ぜひお越しください。お待ちしています。



受付開始・・・



HAPPYランチ会の風景



支部長の挨拶



乾杯・・・

いつも参加頂いている皆さんに感謝



日本せきすい基金の池田さん (右)

本部 安藤副代表理事ご夫妻 (左)

HAPPYランチ会の風景



二次会へ



集合写真



食欲絶好調



おじいちゃんお昼寝



みんなでお昼



みんなでお昼

うん...

僕の最愛の娘たちこれから長い人生、良い事も悪い事も沢山有ると思う。
 何があっても、どんな事が起きても家族はあなたのみかたで支えて行くよ。そ
 して友達はあなた達にとって掛替えのない財産を支えてくれる。パパはそうや
 う言ってきたんだ、娘達にもそうやって育てて欲しい。

運動会にはじいちゃんとおばあちゃんも来てくれた。お昼を皆でお弁当を囲んで
 子供達も嬉しそうに過ごしている時間。とても大切だと思っている。僕は小学生の
 時、運動会おじいちゃん、おばあちゃんが来てくれ、お昼を食へきれないほど
 のおにぎりやおいなりさん、楽しく嬉しかった事を今でも忘れない。きっと子
 供達の心の中には、この楽しい時間は色濃く残っていくと思う。来年も再来年も
 こんな時間を持って行きたい。



公園で



福祉に関する情報

◎危険でもつい利用 車いすでエスカレーター、複雑な事情

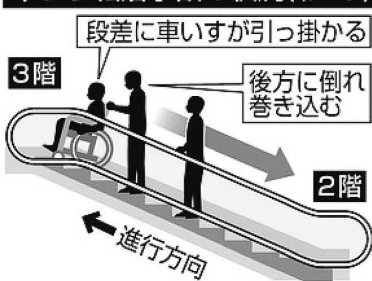
高松市で、車いすでエスカレーターに乗って転倒し、後ろの利用者が巻き込まれて死亡する事故が起きた。メーカーなどは車いすでエスカレーターに乗らないよう呼びかけるものの、利用する人はいる。エレベーターが使いつらい面もあり、障害者や支援する人々は頭を悩ませている。

事故は10日午前10時40分ごろ、高松市内の商業施設にあるインテリア店「ニトリゆめタウン高松店」で起きた。

香川県警によると、市内の無職男性（81）は車いすの妻（79）を後ろから支えながら、エスカレーター（高低差約5メートル、幅約1メートル）で2階から3階に向かっていった。だが、3階降り口の段差に車輪が引っかかり、バランスを崩して車いすごと2人は転げ落ちた。後ろにいた女性（76）が巻き込まれて全身を強く打ち、出血性ショックで死亡した。男性は左腕に軽傷、妻は頭に重傷を負った。悲鳴を聞いた店員が駆けつけ、緊急停止ボタンを押したという。県警が過失致死容疑で調べている。

妻は普段から車いす生活を送っていた。この商業施設には、計7カ所ある1階の入り口やサービ

車いす転落事故の状況(イメージ)



スカウンターで車いすを貸し出すサービスがある。夫婦はこの日、車で訪れた。男性が車いすを借りて駐車場まで運び、妻を乗せて移動していたという。事故現場のエスカレーターから20メートルほどの場所にはエレベーターがあった。男性は県警の調べに対し「そこにエスカレーターがあったので乗ってしまった」と話しているという。

現場のエスカレーターには車いすでの利用を禁止する注意書きなどはなかった。ニトリは今回の事故を受け、全国の店舗にエスカレーターでの車いすやベビーカーの使用禁止を呼びかける看板を設置した。（森下 俊介）

車いすメーカーは「事故や転倒・転落の恐れがある」と取り扱い説明書に明記するなどし、エスカレーターで利用しないよう呼びかけている。大手の松永製作所（岐阜県養老町）は説明書に禁止と明記していないが、「そもそもエスカレーターでの利用を想定していない」と担当者は話す。

あるエスカレーター製造会社も「車いすやベビーカーなどのエスカレーター使用は禁止している」とする。「以前は、エレベーターがない駅舎などのために、車いすでも乗れるエスカレーターも製造していたが、エレベーターの設置も進んできたため、ここ数年は販売していない」

ただ、国土交通省によると車いすのエスカレーター利用に法的な規制はない。エレベーターなどが一概に使いやすいとも言えず、エスカレーター利用に理解を示す声もある。

全国脊髄（せきずい）損傷者連合会（東京）によると、上半身がしっかりと力のある車いす利用者にはエスカレーターに乗る人もいる。ただ、荷物を落とす、体のバランスを崩すといった報告が少なくないという。

電動車いすを利用する大浜真・代表理事は、エスカレーターがデパートなどの入り口のそばにある一方で、エレベーターは奥にあつて不便なことがあると指摘する。エレベーターがいつぱいで乗れないことも多く、「ついついエスカレーターに乗りたくなる気持ちもわかる」。

1歳の息子がいる東京都豊島区の会社員女性（33）は、ベビーカーでエスカレーターを利用する。エレベーターの待ち時間が長かったり、駅では乗り換えや遠回りが必要だったり、「危険だと分かっているし、後ろめたさはあるけど、つい利用してしまう」。

香川県社会福祉協議会はウェブサイトに、車いすの広げ方やエレベーターの乗り降り、階段の上り下りなどとともに、エスカレーターでの車いすの介助方法を示すマニュアルを載せていた。「危険を伴うので注意が必要」という注意を

記したうえで、「キャスター（前輪）を上げてステップに乗る」、「階段状になりはじめたら、一つ上の段の角に後輪を押しつける」などと説明していた。

2004年に作成した介助の冊子に掲載した内容だが、今回の事故を受け、12日に削除した。社協は「事故があった以上、適切ではなかった。今後はエレベーターの利用を呼びかけたい」とするものの、「エレベーターのない施設もあり、エスカレーターの利用を100%否定できない」と頭を悩ます。

ユニバーサルデザインに詳しい三星昭宏・近畿大学名誉教授は「車いすでエスカレーターに乗るべきではないが、一概に責められない部分もある。エスカレーターの前に、エレベーターの場所を大きく表示するなど対策も必要。画像認識の技術を使い、車いすで乗ってしまったようにする対策も考えるべきだ」と話している。（斉藤寛子、根津弥）

朝日デジタルヘッドライン 7月13日

◎車いすやベビーカー エスカレーターは非常に危険

10日、高松市の商業施設で81歳の男性が妻を車いすに乗せてエスカレーターを利用していたところ転落し、後ろにいた76歳の女性が巻き込まれて死亡した事故を受け業界団体は、「非常に危険な行為だ」として車いすやベビーカーでエスカレーターを利用しないよう改めて注意を呼びかけています。この事故を受け、メーカーで作る業界団体の「日本エレベーター協会」は、エスカレーターのステップは奥行きが一般的な規格で38センチしかなく、車いすやベビーカーでは車輪が安定しないうえ、同伴の人が重さを支えきれずに転倒するおそれがあります。このため、車いすやベビーカーでは、エスカレーターを利用せず、エレベーターを活用してほしいとしています。

また、協会では、エスカレーターに乗っている人に接触して転落事故を起こすおそれがあるエスカレーターでの歩行もやめるようよびかけていて、利用の際には、立ち止まった上で、手すりにつかまって乗るよう注意を呼びかけています。

日本エレベーター協会は、「エスカレーターは車いすを乗せたり歩いたりすることを前提に作られていない。誤った利用は重大な事故につながるおそれがあるので絶対にやめてほしい」と話しています。

◎エスカレーター事故で救急搬送 5年で6700人余

エスカレーターで転んだり落ちたりして救急搬送された人は、こうした統計をとっている東京消防庁の管内で、おととしまでの5年間に6724人に上っています。

それによりますと、東京都内では毎年1000人以上が搬送されていて、おととしは1416人が搬送されました。このうちの60%以上が65歳以上の高齢者でした。

また、事故の形態別では、転んでけがをした人が68.9%、落ちてけがをした人が26.5%で、「転ぶ」「落ちる」といった事故が90%以上を占めています。

こうした事故は全国的に起きていて、去年2月には、名古屋市の名古屋国際会議場の下りエスカレーターで70代の女性が転倒し、すぐ下にいた別の女性2人も巻き込まれ3人が病院に運ばれました。

また、3年前の12月にはJR横浜駅構内のエスカレーターで80代の男性が転倒し、下にいた30代の女性が巻き込まれてけがをしました。

◎ネット上では

今回の事故について、インターネットでは、「同じような状況に遭遇したことがある」といった体験のほか、車いすやベビーカーの利用者がエスカレーターを使わずにすむような環境作りが大切だといった指摘も見られました。中には、「ベビーカーに巻き込まれて危うく落ちかけたことある」「おばあちゃんがカートでエスカレーター乗って倒れてきて、妹負傷した」などと同じような状況に遭遇した体験を挙げたうえで、車いすなどの利用は避けるべきだという意見が投稿されています。

一方で、「乗りたくなくなる気持ちはわからんでもない。エレベーターを使いたくても商業施設だと人が殺到してなかなか乗れない」「エレベーターを使わざるをえない人以外がエレベーター使いまくるからこういうことも起こる」として、車いすやベビーカーの利用者がエスカレーターを使わずにすむような環境作りが大切だといった指摘も見られました。

千葉日報7月13日

◎車いすのまま利用OK 筋トレ機器3台新規導入
千葉ポートアリーナ

千葉市は、千葉ポートアリーナ（中央区問屋町）のトレーニング室に、車いすに乗ったまま使えるトレーニング機器3台を新たに導入した。「車いすスポーツの聖地」と銘打って障害者スポーツの普及を進めており、誰もが便利に利用できる環境を整備する狙い。千葉県内公共施設での導入は珍しいという。

導入したのは腕を使って大胸筋などを鍛えるチェストプレス、三角筋などを鍛えるオーバーヘッドプレス、広背筋などを鍛えるラットプルダウン各1台。これまでは車いす利用者が使う場合、付属するいすに乗り換える必要があった。

機器3台は5年リースで、5月の入れ替えを機に市が導入を決めた。市スポーツ振興課によると、同アリーナでは2014年9月に

も、車いすで体育館を走る際に床が傷つかないようにする多目的コートを購入。今後も機器のさらなる拡充などを検討していく。

リオ・パラリンピックで銅メダルを獲得し、車いすラグビー選手として活躍する市職員の官野一彦さん（35）は「車いすのまま使えるトレーニング機器を置いた施設は珍しい」とした上で「使う機器の選択肢が増えるだけで、誰でも気軽に施設を利用できる空気がつくられる。今後さらに取り組みが前へ進めば」と期待する。

機器3台は健常者もこれまでと変わらず利用できる。同課は「幅広い施設利用者、障害者スポーツへの理解と関心を持ってほしい」と狙いを話す。利用料は2時間で一般460円、高校生220円。身体障害者手帳の提示で、介助者1人を含め無料になる。



車いすに乗ったまま使えるトレーニング機器で鍛える官野さん＝千葉ポートアリーナ（千葉市提供）

千葉日報6月18日

国産車から外車まで
オールメーカー対応



〒289-1512
山武市松尾町八田2399-7
TEL(0479)82-2236
FAX(0479)82-2246

お気軽にご相談ください
〈販売と修理〉

あなたのお役に立ちます

〈介護用品全般・車いす〉

(株)山石商会

山武郡横芝光町長倉1308
TEL(0479)82-2228
FAX(0479)82-8299

LIKE



浜本まり紗さん

♡ダンスの力を信じて、障害者と健常者が手を
つなぎ「車いすダンス」をすべての人々に♡
女子会 松田よしえ

私は、高校時代バトントワナー部に入っていて、踊ることが大好きでした。でも、結婚育児離婚仕事をがむしゃらに生きてきて、一瞬にして人生が一変しました。右手足がなくなり……

現在は、娘にも手伝ってもらい回りの友人から元気をもらっています。

先口慶應義塾大学ダンス障害者のサークルに参加してきました。

浜本まり紗さん *adobe.com Japan*
MARISA HAMAMOTO - PROFESSIONAL BALLROOM DANCER, DANCE ADVOCATE, ACTRESS, ARTISTIC DIRECTOR, FLOW - A WHEELCHAIR DANCE COMPANY

彼女は、全身麻痺からプロダンサー・全米初「車いす社交ダンスカンパニー」設立ー浜本まり紗さん



浜本まり紗さんは、慶応大学大学院政策・メディア研究科在学中の2007年にSyiff (ヤングブリーダー奨学金受給プログラム)の奨学金を受給しました。幼少時よりダンスに情熱を注ぎ、プロのバレエダンサーを目指した時期もありましたが、大学で大学院では、ダンスを科学的に分析する研究をおこないました。その間、首から下の機能がマヒする難病に襲われましたが、ダンスへの情熱が病魔に勝利、奇跡的な回復を遂げました。

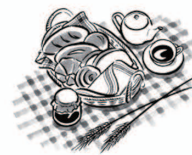
その後、プロダンサーとしてさまざまな経験を積み、2015年1月に全米初の非営利の車いす社交ダンスカンパニー「Syiff Flow」を立ち上げました。パフオーマンスやワークショップなどを通じてリハビリ効果のあるダンスをすべての人に提供することにより、障害者と健常者の壁を破ることを目指し、ロサンゼルスを拠点に地域に密着した活動をおこなっています。

車いすダンスを通していろいろな人と知り合い、皆と楽しめる事を、教わった1日でした！

興味のある方は、東京田町障害者福祉会館で毎週土曜日18:00からレッスンします。是非見学をいらしてくださいね。

My Style

vol. 22



こんにちは♪コシを打っている今日は、7月21日。梅雨の中休みだったはずが、そのまま梅雨明けしてしまい、毎日本当に暑い日が続いています。皆さん、倒れていませんか?!!

水分補給が大切とわかっていても、つい、外出先では飲むことを控えてしまいがちで、途中からフラフラしてしまうことがあります。危険ですよ! 皆さんも、どうかお気をつけてくださいね。

さて、お子さんのいらっしゃる方は、すでに夏休みで慌たしい毎日をお過ごしなのではないでしょうか。最近は夏休みに入る日が早いですね。うちの姪っ子ちゃんは小学5年生。14日に終業式で、15日から夏休みがスタートしています! 早すぎてびっくりしてしまいました。

兄夫婦の仕事の関係で、時々、朝から我が家に来ることがあります。先日19日、早速遊びに来ました。その日は、家にわたし1人しかいない日でした。2人で家にもつまらないよね~と思い、それならと、姪っ子ちゃんとのデート計画を立てました(*^▽^*)

兄が仕事へ行く途中に送って来るのが朝8時前。姪っ子ちゃん到着後、まずは7時からオープンしているパン屋さんへ行き、そこで朝食♪イトインスペースがあるので、そこで朝ごはん食べるというのも、普段と違って楽しいかなと。

作り立てのパンを、今食べる分、お持ち帰りの分と、好きなように選ばせてあげました。たくさんあってすごく悩んでたけど、自分で選ぶって、嬉しいのよね。すごく楽しそうでした。

パンを食べ終えた後、今度は千葉市科学館へ! プラネタリウムです! 2作品を続けて観るといって、ちょっと贅沢タイム♪ 迫力ある恐竜の映像と、夏休み企画という、ドラえもんと宇宙探検! こういうのって、子供と一緒にでないと、なかなか観る機会ありません。息子が小学生の頃を懐かしく思い出しながら、わたし自身も愉しめました。やっぱりドラえもん、イイなあ~って。お勧めです!

すっかりお昼を過ぎた頃、ランチへ。車は、科学館のある「きぼーる」駐車場に置いたまま移動。定額料金の設定があるので安心です。京成ホテルミラマーシまで5分くらい? 歩道が広く、大きなアップダウンもないので、車いすでの移動も、ますます安全な道のりです。

ランチタイムのピークが過ぎていて、すぐに入れ、落ち着いた中ゆっくりできました。「デザートいらない」と言うくらい、モリモリ食べて、大満足だったみたい! 良かった良かった(^▽^)

わたしが困らない範囲でのデートコースでしたが、夜、「今日の報告してくれたけど、テンション高かったよ!」と、義姉からメールもらって、嬉しくなりました。

子供と一緒に出かけ出来るのは、意外と短いもの。そのうち部活だ、友達との約束だと、どんどん離れていきます。小学生のうちですね(笑) だから、この日はわたしも、久々の感覚で楽しかった♪

食べられる時にしっかり食べて、今年の夏も、無事に乗り切りましょう! ではまた♪

千葉市 進藤加代子

一般社団法人日本損害保険協会助成による

平成29年度「関東甲信ブロック スキルアップ研修会」のご案内

記

■日時：平成29年9月2日（土）13時～16時30分（受付：12：00から）

■場所：埼玉県障害者交流センター 第3・4研修室

埼玉県さいたま市大原3-10-1

TEL 048-834-2222

さいたま新都心駅から交流センター行き無料送迎バスが出ています。（別紙参照）

講演 1：「生きていることの素晴らしさ、努力は人を裏切らない」

かりや こうぞう

講師 荻谷 浩三氏 狭山市障害者団体連絡会 代表

【プロフィール】

昭和28年3月1日生まれ。北海道函館市出身。9歳時に家族で東京に移住する。昭和52年法政大学法学部政治学科卒業後、某百貨店、某食品会社に従事。平成16年4月、51歳の時、突如「電撃性紫斑病」という病気にかかり四肢切断障害を負う。1年8ヶ月の闘病リハビリ入院生活の後、平成17年末より狭山市にて在宅生活を開始する。平成21年度より「狭山市車椅子と仲間の会」の代表、「狭山市障害者団体連絡会」の代表世話人として活動を始める。又狭山市身体障害者相談員として同じ立場の方々への各種相談活動も行っている。狭山市社会福祉協議会理事。NPO法人「さやま後見ネット」理事。狭山市障害支援区分認定審査会委員。その他。

講演 2：「発展途上国で脊髄損傷者になりました」

講師 村上 哲也氏

【プロフィール】

2014年8月、発展途上国ルワンダで交通事故に遭いケニアで手術を受け日本へ搬送された。1年近くの入院生活を送り退院後は背中痛みや痺れ、排泄問題に悩みながら電車であちらこちらへ出かけた。受傷から2年後、ルワンダへ再訪。約24時間のフライトも背中痛みをだましながら自己導尿で乗り切った。やっと辿り着いたルワンダ。事故で助かった同僚と事故を起こした運転手と再会できた。・・・

（日本せきずい基金ニュースN072より抜粋）

講演 3：高次脳機能障害への対応

講師 下重 敏子氏 全国脊髄損傷者連合会埼玉県支部 支部長
国立障害者リハビリテーションセンター病院
MSW、社会福祉士

✚ 参加費：研修会 無料

✚ 懇親会：4,000円 開始時間：18時～21時 会場：「ラフレさいたま」3F 彩霞楼

✚ 宿泊：「ラフレさいたま」 宿泊代は、各自支払い

●申し込み〆切：8月10日

●問い合わせ先：菊地 TEL090-6108-1666 E-mail cosumo-mk3@yahoo.co.jp

平成29年度関東甲信ブロック会定期総会のお知らせ

記

- 日 時 平成29年9月3日(日)
- 時 間 午前10時30分～16時
- 場 所 埼玉県障害者交流センター ホール
埼玉県さいたま市大原3-10-1
電話 048-834-2222

さいたま新都心駅から交流センター行き無料送迎バスが出ています。(下記参照)



会場までアクセス

【車】

- さいたま新都心駅から 10分
- ▶ 首都高速埼玉新都心線
出入口から 10分

【送迎バス】

さいたま新都心駅東口改札を出て右、2つめの階段、エスカレーターを降りて、左手3番乗り場から無料送迎バスが出ています。

脊髄再生医療最新情報

再生医療 臨床ラッシュ 他人由来の細胞で治療へ

難病治療に広がる可能性

他人由来の細胞を使った再生医療の研究で、ヒトを対象に安全性を確かめ、効果を見る臨床試験が相次いで始まる。治療までの時間を大幅に短縮し、コストを下げる可能性がある他人由来の細胞の移植が実現すれば、これまで治療が困難だった病気や障害を治せる可能性が高まる。

脊髄(せきずい)損傷の治療でも、iPS細胞(人工多能性幹細胞)を使った臨床研究が始まる。報道によると、慶応義塾大学の岡野栄之教授と中村雅也教授らの研究チームは、脊髄を損傷した患者に、iPS細胞から作った神経のもとになる細胞を移植する臨床研究について学内の倫理委員会に申請した。了承を受けた後、国への届け出を行う。

iPS細胞から神経細胞のもとになる「神経前駆細胞」を作り、患者の脊髄の損傷部分に移植する。iPS細胞は、京都大学iPS細胞研究所から提供を受ける。拒絶反応が起きにくいタイプの健康な人から作り、備蓄を進めているものを使う。脊髄を損傷してから2〜4週間が経過した患者を対象に、2018年前半の試験開始を目指す」と報じられている。

◇傷ついた神経を修復

脊髄損傷は交通事故や転落・転倒などにより脊髄が損傷し、神経が断裂したり圧迫されたりして、脳から発した電気信号が届かなくなり、手足が動かなくなったり感覚が麻痺(まひ)したりする。

岡野教授らの研究では、iPS細胞から作った神経前駆細胞を損傷部分に移植する。手足が麻痺した小型サルのコモンマーモセットを対象にした研究では、細胞移植により運動機能が改善し、立つことができるようになったり、手の握力が改善したりした。詳しいメカニズムは不明だが、移植した細胞が損傷部分を回復させる役割を果たすと考えられている。

岡野教授によると、再生医療の効果には、移植した細胞が失われた細胞を補う「細胞置換」と、移植細胞が栄養因子を出して再生能力や保護効果を高める「栄養効果」がある。脊髄損傷の治療では、その両方が効いていると考えられるという。現状では、細胞移植で治療効果を見込めるのは受傷後数週間以内の

急性期から亜急性期の患者だ。受傷後時間が経過した慢性期の患者は、損傷部分が固いカサブタのような状態になり、回復しにくくなる。再生医療で治療する場合も、自分由来の細胞からiPS細胞を作っていたのでは治療のタイムリંગを逃す。ストックされている他人の細胞を使えば、亜急性期までの期間に治療を開始できる。岡野教授は今後、治療の研究を進めることで、「慢性期の患者でも、細胞移植とリハビリの組み合わせによって回復を期待できる」と期待を寄せている。

国内の脊髄損傷の患者数は約10万人で、毎年5000人の患者が新たに発生している。現在の医療では根本的な治療法がなく、再生医療に寄せられる期待は大きい。

◇治験数が増加

人工培養した細胞や組織を使って失われた組織を修復・再生する再生医療の研究は、ここに来て大きく前に進み始めている。

厚生労働省の再生医療等評価部会は2月1日、他人のiPS細胞からつくった網膜組織の細胞を目の難病「滲出型加齢黄斑変性（しんしゅつがたかれいおうはんへんせい）」の患者に移植する世界初の臨床研究計画を了承した。今年前半に最初の手術が行われる。同じ2月には京都大学iPS細胞研究所の高橋淳教授がパーキンソン病の治療で臨床試験を始めると発表。大阪大学の澤芳樹教授は重症心不全で、臨床試験へと進む意向を昨年明らかにしている。

細胞移植の中でも、あらゆる臓器に対応できて培養もしやすいiPS細胞を活用することへの期待は大きい。実際に治療で行われたのは患者本人から細胞を採取した例だけだ。自分由来のiPS細胞は他人由来に比べて拒絶反応のリスクは低い。細胞を採取・加工する時間と費用が問題だった。疾患や障害によっては発症後、早期の治療を必要とすることがある。また治療費のコスト抑制の課題に配慮するためにも、他人由来の細胞を使った治療の研究が求められていた。他人由来の細胞を使った治療の中でも、iPS細胞を使う研究を後押しするのが、京都大学iPS細胞研究所のiPS細胞ストックだ。血液細胞の型（HLA型）のうち、拒絶反応が起きにくいタイプを選んでiPS細胞をあらかじめ作って保存し、必要に応じて提供する。15年以降は民間にも提供を開始、22年度までに日本人の大半をカバーできるストックを作る目標を立てている。研究者にとってiPS細胞提供のインフラが整備されたことの意義は大きく、慶応大・岡野教授は「京都大学から提供を受けた（非臨床グレードの）i

PS細胞を用いた動物実験が13年に始まり、技術的にはヒトでの臨床研究に移行する段階に入れるようになってきたのが今だ」と話す。

他人由来のiPS細胞を使った細胞移植という先端研究だけではない。再生医療の研究は対象疾患、アプローチの種類ともに広がりを見せている。

再生医療等医薬品の治験の件数は、1月末までで少なくとも5件（医薬品医療機器総合機構への届け出ベース）ある。再生医療等製品は、従来の医薬品とは別に早期に保険適用を承認する仕組みが14年に施行されており、今後も治験の数は増えると思われる。ヘリオスの急性期脳梗塞（こうそく）治療薬「マルチステム」は2/3相試験中で、サンバイオの外傷性脳損傷治療薬「SB623」は2相の試験中だ。1月にはタカラバイオが血液のがんで「キメラ抗原受容体（CAR）—T細胞療法」で再生医療等製品としての治験を申請している。

治験の件数増加は、14年11月施行の医薬品医療機器等法により、早期承認制度が導入されたことが大きい。国が認めれば、治験の最終段階を早期に切り上げて、保険適用を得て商品化できる。

ただ、多くの研究は動物実験で確認された効果を、ようやくヒトに応用する試験の最初の段階に差し掛かったところだ。医薬品の開発は、研究室で行われる「臨床研究」から、治療を兼ねた「臨床試験」に入り、保険適用を目指す「治験」へと進む。臨床試験は、まずヒトでの安全性を確かめながら、慎重に進められる。またがん化の回避など安全性を確保する技術のほか、細胞培養や流通など、実用化までにクリアすべき課題は多い。

*週刊エコノミスト2017年3月21日号掲載 特集「再生医療 臨床ラッシュ」



車イスぶらり旅紀行

九州 秘境を巡る旅

車イスの旅人

日本三大秘境といえ、①岐阜県白川郷、②徳島県祖谷(いや)、③宮崎県椎葉(しいば)であることはご存知だろうか。今回は③の椎葉の旅を中心にエピソードを含めて紹介したい。

福岡県と大分県では、7月はじめの豪雨で甚大な被害をもたらしたニュースが報道されましたが、亡くなられた30数名の方々には心からご冥福をお祈り申し上げます。

5月12日、自宅をマイカーで出発し、陸路で関門海峡を経て大分県国東半島を一周し、別府市からやまなみハイウエーを走り、阿蘇市へ。

国東半島では、伊美港からフェリーで20分ほどの姫島にも渡った。姫島はアサギマダラという渡り蝶が寄島するということで、観光ポスターには数十匹のアサギマダラが乱舞する姿が掲載されていたが、数匹しか見ることができず少しがっかり。ただ昼食の海鮮料理は新鮮でおいしく大満足だった。

九重山の麓、長者原(ちようじゃばる)は真っ青な空と新緑のコントラスト、背後には九重連山がそびえている。湿原の木道を車イスで走行することができ、今回一度目だが私の携帯電話の壁紙にしているほど、大好きな場所だ。

阿蘇の外輪山に沿って大観峰までのミルクロードは牧歌的で、何度来ても飽きること



車イスでも楽しめる長者原湿原の木道

とがない。昨年の熊本地震で、阿蘇神社が倒壊したニュースを見たので行ってみたい。倒壊したのは山門だけで、修復工事のためシートでおおわれており本殿まで行くことができなかった。自宅を出発して阿蘇までの6日間は順調な旅であった。天気も良く、どこを走っても新緑が眩しく美しかった。

今回の旅は南九州をメインに予定していたが、妻がどうしても日本三大秘境の椎葉村に行ってみようということ。阿蘇で一泊し地震被害の少ない阿蘇外輪山の東側の国道265号を南下した。国道とは名のみで椎葉村に近づくにつれ道幅が狭くなり、カーブや勾配がきつくと、対向車が来ないことを祈った。緊張しながらも車が少ないので午前中に椎葉村に到着。秘境ということだったが、街は活気があり思った以上にぎやかだった。この村の目玉は平家の落人で知られる鶴富屋敷つるとみやしきとそば料理のみで、800年前の壇ノ浦で平家の扇を弓矢で落とした那須与一の弟と、平家の鬼姫との恋物語の屋敷を見学した。現在も末裔の那須氏が住んでいるとのこと。実話であるらしい。椎葉のそばは抜群においしかった。

他に見るものもないので、次の目的地である五家庄(ごかのしよう)にマイカーを進めることにしたが、運転に自信過剰な私はこの後一生忘れられることができないほどの恐怖を味わうこととなった。

五家庄までの正規のルートは今朝来た道をいったん戻り、熊本方面から廻って行かなくてはならないのだが、地元の方はダム湖に沿って峠越えして行くとの情報を得た。30キロは近道できると、私はダム湖に沿って走り出した。幸い前方をトラックが走っていたので、その後をゆくりゆくりついていった。20キロ近く走ったころ、トラックは工事現場で止まってしまったので、この先は自分で峠越えをしなくてはならない。ナビにもルートが載ってなく、道路標識もないため迷い込んで地元の家々の庭先に突き当たってしまうことも。道を尋ねること数回、峠近くまで車を進めると、家もなくダートの道となった。轍(わだち)がかすかに付いていたのでゆくり登っていった。ヘアピンカーブの連続となり、道が細いので切り返さないと曲がりきれず、勾配もきつくなり走ってきたダム湖が眼下に小さく見えてきた。山側には葉の広がったワラビやゼンマイが群生していて、妻は「もう少し早ければ山菜採りができたね」と、のんびりしたムードで峠を目指し車を進めていった。が、突然道が崩れて進むことが難しくなった。最近の雨で崩れたのだろうか、無理せず引き返すことにした。車一台がやっと通れる細い山岳道路をバックのまま引き返すにも、谷側は絶壁でガードレールなどない。車にバッグモニターが付いているが、逆光で道がよくわからない。気持ちを落ち着けるため、深呼吸をしてから妻に誘導してもらいながらゆくりゆくりと後退した。カーブに差しかけたところまで何度かハン

ドルを切り返し、ようやく方向転換ができた。しかし、この先もアピンカーブの連続で、根気よくハンドルを切り返しながら下りていった。少しでもハンドル操作を誤ったら谷底に落ちてしまう。そう思うと恐怖のあまり山側に舵を取ってしまうため、タイヤを岩に擦りつけガキツと音を立てた。30分ほどの道のりだったが一時間も走ったように思える。やっと舗装された道路まで戻ったときは本当にホッとした。だが舗装道路を走っているのに妙に車がガタガタと揺れる。集会所らしきところに広場があったので、妻にタイヤを確認してもらったら左側前輪がペンヤンコとのこと。タイヤは三ヶ月前に交換したばかりだったので、スペアタイヤを外し荷物入れにしたのを後悔したが、後の祭りであった。携帯電話でJAFに連絡をとり、1時間半ほど待つているとようやく椎葉村からレッカー車が駆けつけてくれた。あのダム湖の曲がりくねった狭い道を来てくれたのだ。集会所といえども山間地で狭いため、レッカー車の荷台に私の車を積むまで苦労させてしまった。集会所では葬儀の準備中だとかで、この騒動を見ていた数人の男性が私を車イスからレッカー車助手席まで担ぎ上げてくれた。地元の方に何度もお礼を言いつつ椎葉村の修理工場に向かった。

。シクしたタイヤは側面が切れていたため、交換が必要とのことだったが、在庫がないので翌日以降になるとのこと。修理工場の女将さんが電話でホテルを確認してくれたが、2軒とも満室で断られた。そこで障害者トイレのある公園を教えてください、応急的に修理工場のスペアタイヤをセットしてもらい、ダム湖の管理事務所近くの公園で一夜を過ごした。

翌日午後には新タイヤと交換してもらったことができ、再度旅行が可能となった。JAFには何度もお世話になっているが、このときほど入会して良かったと感じたことはなかった。レッカー車代を含め、タイヤを一本交換したにもかかわらず驚くほど修理費が安かった。その後はかなり遠回りになったが、国道を迂回し五家荘にたどり着くことができた。『急がば周れ』を教訓とした二日間であった。

この後も10日間旅を続けたが、毎日晴天



大分県佐賀関の夕日

が続き五木村(つきむら)、人吉市、えびの高原、そして鹿児島県に入り、薩摩半島を一周し、錦江湾に沿って大隅半島から東海岸を宮崎県方面に北上し、大分県佐賀関(さかのせき)からフェリーで四国の愛媛県へ。松山自動車、徳島自動車道を経由して鳴門海峡から淡路島へ上陸。明石大橋を渡って兵庫県に渡り帰路についた。

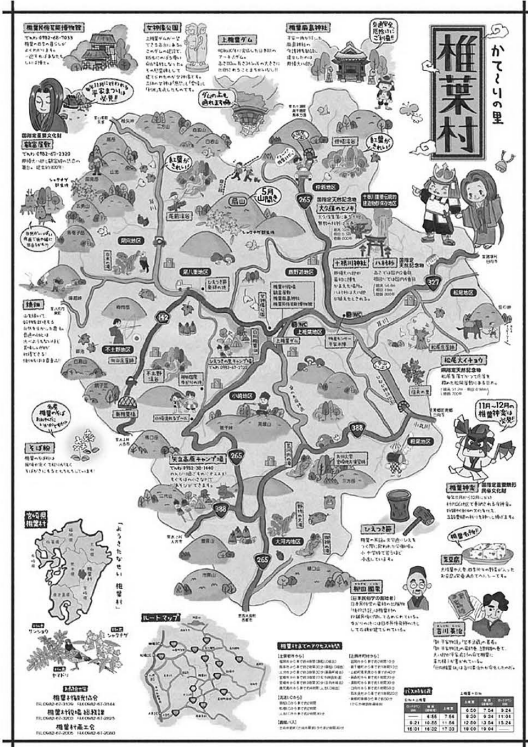
鹿児島県の甕島(こしきじま)にも渡って観光船にも乗船できた。小さな船だったが、スタッフ数人でサポートしていただき、下甕島方面までの島巡りを楽しむことができた。美しい海原から上甕島と下甕島とを橋梁で結ぶ工事を間近に見ることができた。

南鹿児島市では、夕方川沿いを散歩していたら蛸が乱舞していた子供にタイムスリップしたような気持ちになった。また宮崎県都井岬には野生の馬が数十頭生息していて、冬でも放し飼いのままとのこと。観光客は少なかったが、目の前でなんと交尾するシーンまでの大サービス? これぞ野生の馬たにんまり。

紙面の都合でかなり省いてしまったが、心に残る思い出の地がたくさんでき、執筆しているときまた旅をしたくなった。



上甕島と下甕島を結ぶ橋梁工事



BBQ 昼食会のご案内

今年もバーベキュー昼食会の季節がやってきます。
今回も昨年と同じ、富津市鹿野山のマザー牧場にて開催します。
皆様と親睦を深めながら楽しい一時を過ごしていただければと思います。
ご家族、ご友人等々をお誘いの上、ご参加ください。
バーベキュー終了後もマザー牧場でお楽しみいただけます。

- ★開催日: 平成29年10月15日(日) ・受付開始11:00～(正面入口前)・開始11:45～14:00 予定
- ★会場: マザー牧場(アクセスマップ参照)
- ★住所: 千葉県富津市田倉940-3 Tel0439-37-3211
- ★参加費: 大人(中学生以上)2,500円 ・小学生(高学年)半額 ・小学生(低学年)以下無料
(入場料・バーベキュー代・飲み物代として)※当日受付でお支払お願い致します。
- ◎駐車場:無料 まさば駐車場(下側)をご利用ください。

《脊損連合会千葉県支部と言わないと有料になるので注意》

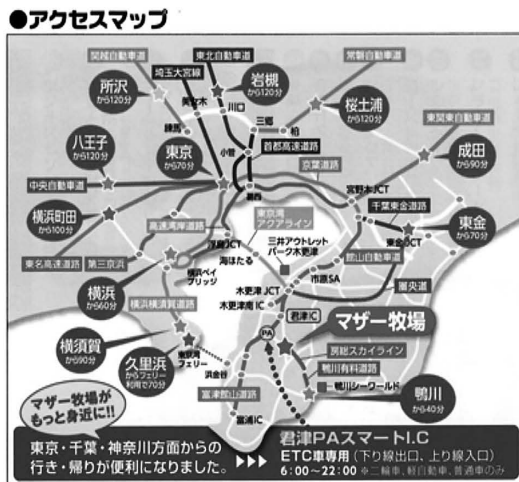
運転者は、絶対に飲酒しないでください!

雨天決行します! バーベキュー会場には屋根があります。

■参加申込先 : 露崎副支部長

•Tel 090-1846-1058 •Email ciao0721@ezweb.ne.jp

■申込締め切り:平成29年9月30日(土)



ピアサポート実施について

■平成29年度実施日

平成29年11月13日 平成30年1月15日、3月5日

相談時間帯 14時～16時

■場所

市原市保健福祉センター(サンハート) ボランティアルーム(下記案内図参照)
千葉県市原市海土有木225-4

■相談ご希望の方は実施日前日までに下記までご連絡ください。

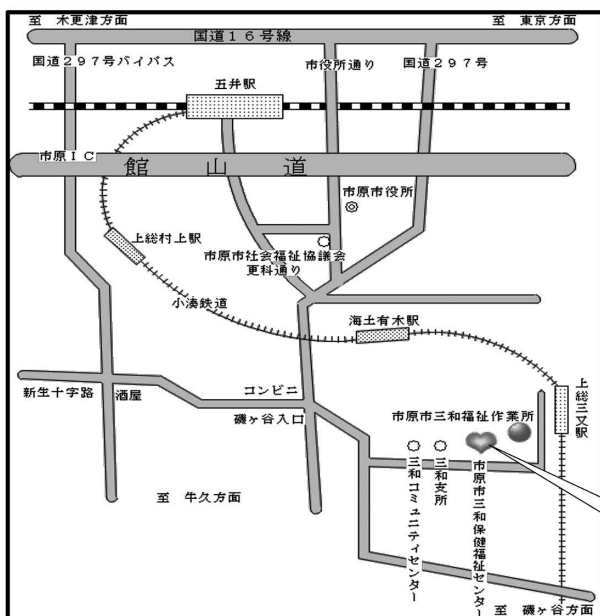
担当者:飯岡 電話 050-3634-7257

Eメールアドレス sijchiba.hide.iio@gmail.com

■電話での相談も可能です。

※当支部では、脊髄負傷者当事者が自らの経験を基に脊髄負傷者(頸椎損傷者も含みます)の悩みや心配ごとなどの相談に無料で応じますのでお気軽にご相談ください。

- ◇ 個人情報は一切外部に漏らしません。
- ◇ 難しい問題については専門相談員や、弁護士をご紹介します。
- ◇ ご家族やご友人、会員外の方も歓迎します。



ピアサポートとは・・・

ピア (Peer) = 仲間

サポート (Support) = 支援

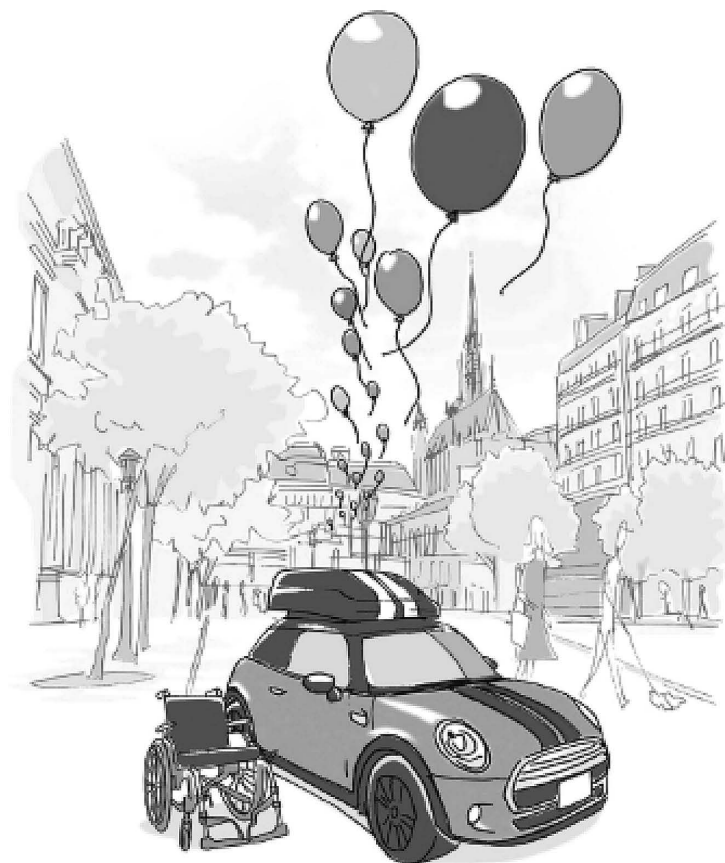


ピアサポート実施会場

アイのある技術で、ユニバーサル社会に貢献します。

ニッサン自動車工業は2016年4月より、

”株式会社ミクニ ライフ&オート”と社名を変更し、新たなスタートを切りました。



Happy car life

発行人 東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102

特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会

編集人 佐倉市染井野5-42-7 頒価二〇〇円

全国脊髄損傷者連合会千葉県支部



手でアクセル&ブレーキ

手動運転装置

APドライブ

車いすを屋根上へ収納

車いす収納装置

オートボックス



車いすに乗ったまま
スムーズ乗降

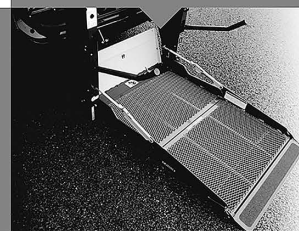
リモコン式

乗降用リフト

車いすの積み降ろしを
サポート

車いす収納装置

ウィンチェア



福祉車両総合メーカー



株式会社 **ミクニライフ&オート**

〒349-1145 埼玉県加須市間口456-1
TEL.0480-72-7221
FAX.0480-72-7223
<http://www.nissin-apd.co.jp/>